

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)箕面萱野駅前開発計画 駅ビル	階数	地上3F
建設地	大阪府箕面市西宿	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	1,000 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	物販店、飲食店、工場、等	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年2月 予定	評価の実施日	2022年11月4日
敷地面積	2,219 m ²	作成者	東急設計コンサルタント 北山 愛一
建築面積	2,074 m ²	確認日	2022年11月4日
延床面積	6,009 m ²	確認者	東急設計コンサルタント 尾田 岳志



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.8 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Qのスコア = 2.7

LR 環境負荷低減性

LRのスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.7

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.4

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.0

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.9

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
大阪府箕面市に建設される複合施設の計画である。	・特になし。	
Q1 室内環境 ・全面的なF☆☆☆☆の材料の採用により、室内の空気質環境に配慮している。	Q2 サービス性能 ・耐用年数の長い外装材や内装材を採用し、建物の長寿命化を図っている。 ・階高や壁長さ比率にゆとりのある計画とし、将来の可変性に配慮している。	Q3 室外環境(敷地内) ・特になし。
LR1 エネルギー ・自然エネルギーの直接利用を行っている。	LR2 資源・マテリアル ・節水器具の採用により、水資源の保護を図っている。 ・躯体と仕上材が分別可能な構造とし、非再生性資源の使用量削減に配慮している。	LR3 敷地外環境 ・周辺への漏れ光に配慮した屋外照明計画としている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R4-0107

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	(仮称)箕面萱野駅前開発計画 駅ビル					
	建設地	大阪府箕面市西宿					
	用途/区分	物販店 飲食店 工場 事務所					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B-	
①	CO2削減					3	
②	みどり・ヒート アイランド対策					2	
③	建物の断熱性					4	
④	エネルギー削減					2	
⑤	自然エネルギー直接利用					○	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—

エネルギー消費量の報告

【評価項目】

項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.3	3
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	1.0	2
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	2.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	3.7	4
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	2.4	2
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	4.0	○
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない

その他

	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		